

## 開催概要

日時：平成23年11月28日（月）11時～16時

場所：日本教育会館 一ツ橋ホール（東京都千代田区）

テーマ：東日本大震災、被災地からの証言

～東北圏の教訓と課題を活かすために～

参加者：約770名

## 開催の目的

- ①災害対応を通じて得た多くの**貴重な教訓と課題**を、**今後の各種地域づくりに活かさなければならぬ**。
- ②「大震災に直面したその時、何を考え、どのように立ち向かい、何を得たのか」などの証言を基に、今後発生が懸念される首都直下地震、東海・東南海・南海等の巨大地震に対して、**「得られた教訓・課題」をどのように活かし、何を備えるべきかを考える場**として開催。

## 証言者（スピーカー）

岩手県  
陸前高田市長  
戸羽 太氏



(株)マイヤ  
代表取締役社長  
米谷 春夫氏



宮城県  
気仙沼市長  
菅原 茂氏



トヨタ自動車(株)  
総務部総務室長  
神島 清司氏



福島県  
相馬市長  
立谷 秀清氏



岩手県  
副知事  
上野 善晴氏



国土交通省  
東北地方整備局長  
徳山 日出男氏



## 被災地からの証言のポイント

### 〈 戸羽太 陸前高田市長 〉

- ・臨時職員を含めて110人以上が市民の避難誘導で犠牲になった。「津波てんでんこ(=津波が来たら親も兄弟も関係なく自分が逃げろ)」という先祖の教訓を、行政として推奨すべきかどうか結論がでない。
- ・医療ボランティアも来ていただいたが、慢性医療を抱える被災者には継続的な診察が必要。医師どうしの円滑な引き継ぎが必要。

### 〈 米谷春夫 (株)マイヤ代表取締役社長 〉

- ・官民一体となった食料等の備蓄体制の整備が不可欠。
- ・中小企業基本法上の大企業か中小企業かで復旧への支援内容が大きく異なる。非常時には柔軟な解釈が必要。

### 〈 菅原茂 宮城県気仙沼市長 〉

- ・無くなった方は人口の2%弱だが、事業所の80%が被災。職の確保が今後は大きな課題。
- ・三陸縦貫道がもっと早く整備されていれば命の道として多くの人が助かった。

### 〈 立谷秀清 福島県相馬市長 〉

- ・原発事故の影響で物資が届かないので、医薬品確保のために東京まで行ったが、それが可能となったのは、道路が早期に復旧したおかげ。
- ・国の出先機関不要という話もあるが、復旧には国の支援が不可欠。単純な地方主権論で割り切っているものか。

### 〈 神島清司 トヨタ自動車(株)総務部総務室長 〉

- ・今後の3連動地震に備えて、サプライチェーンの見える化、部材の共通化などに向けた取組が不可欠。
- ・全世界の生産をできるだけ止めない体質への改革を進めている。

### 〈 上野善晴 岩手県副知事 〉

- ・縦割りの弊害や道路等の多重性の欠如が大きな課題。地方の自主性が発揮される復興特区や、多重的交通ネットワークの構築に期待。
- ・東北圏広域地方計画は、復興の実現やその支援を基調とした計画へ転換すべき。

### 〈 徳山日出男 東北地方整備局長 〉

- ・釜石では命の道が多くの児童を救った。
- ・インフラ整備は完成まで長期間かかる。復興予算の長期的な確保が必要。

## ディスカッションの主な発言〔進行：鈴木素男（河北新報論説委員長）〕

### 議 論

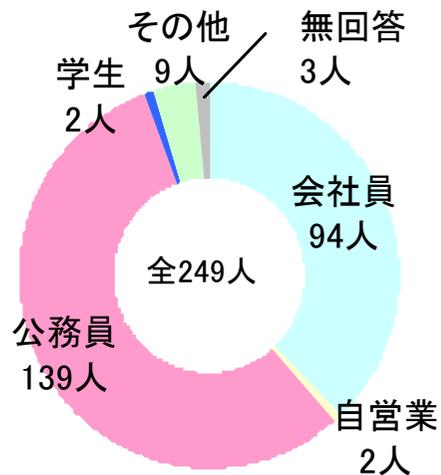
- ・**非常時には行政の縦割りを越えた柔軟な仕組み**を認めることが必要。（陸前高田市長）
- ・個人や企業の資産形成に税金を使えないという大原則を緩和し、**被災企業の支援制度を充実**すべき。（気仙沼市長）
- ・リスクマネジメントの中でも地震が発生したときにどうするか、**クライシスマネジメントが重要**。（マイヤ）
- ・**現場に即断即決できる人材がいるかどうか**が重要。企業も行政も人材の厚みを持つことが必要。（トヨタ）
- ・津波は来ないという「思い込み」が被災を大きくした。市民意識を変えられなかったことが大きな反省点。（相馬市長）
- ・**緊急時に権限を基礎自治体に委譲する現場主義の仕組み**が必要。（岩手県副知事）
- ・**平時と非常時の切り替えが重要**。平時の常識が非常時には非常識になることも多々ある。（徳山局長）
- ・避難訓練を通じて避難場所に十分な備えがないことがわかった。**災害に備えた積み重ねが大切**。（トヨタ）
- ・**より実践的な訓練を行うこと**。そのためには、リーダーが責任をもって社員の意識向上を図ることが必要。（マイヤ）
- ・周辺自治体とだけではなく**離れた自治体同士で支援協定を締結することが大切**。（岩手県副知事）
- ・災害対応の責任は一義的には地方政府にある。国を当てにするのではなく、地方政府がしっかりした考えを持つことが必要。（相馬市長）
- ・3次補正で復興交付金が認められた。**効果促進事業の比率を高め、自治体の裁量を高めることが必要**。（気仙沼市長）
- ・**効率性といざというときの備えの両面からインフラ整備の必要性を判断していくことが必要**。（徳山局長）

### まとめ

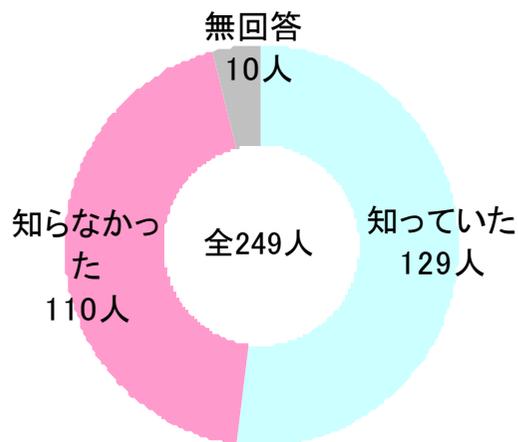
- ・コンクリートに守られた命もある。**効率性だけで切り捨てるのではなく、必要なものは必要との認識を持つべき**。
- ・復興の主役は地域。県や市町村、住民が主人公。
- ・記憶の風化は怖い。今後とも全国からの暖かいサポートを期待。

## 来場者アンケート結果（回答数：249）

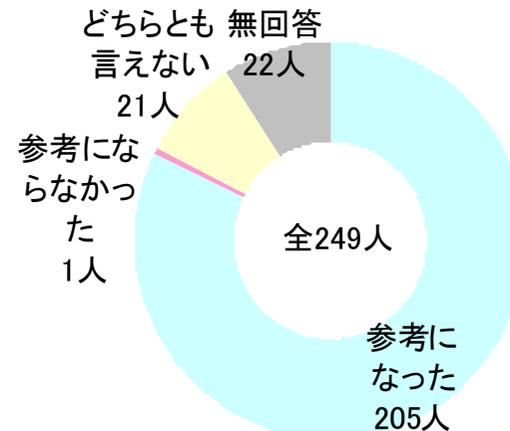
Q. 職業は？



Q. 広域地方計画を知っていたか？



Q. ディスカッションは参考になったか？



Q. 本日のシンポジウムを踏まえ、今後発生が懸念される巨大地震に対して地域全体でどのような備えが必要か？

